

平成 30 年度

入学試験数学問題

〔注 ○解答はすべて解答用紙に記入すること。
○問題用紙は持ち出さないこと。〕

[1] 次の計算をなさい。

(1) $5 \times (-2)^2 - 4 \times 6$

(2) $\frac{1}{6} - \left(-\frac{1}{2}\right)^2 \div \left(-\frac{9}{8}\right)$

(3) $\left(-\frac{2}{3}ab\right)^2 \times 3b^2 \div 2ab^3$

(4) $\frac{2}{\sqrt{2}} + 2\sqrt{72} - \frac{4}{\sqrt{8}} - \sqrt{50}$

(5) $(2x - 3)(2x + 3) - (2x - 3)^2 - 12x$

(6) $\frac{x-1}{2} - \frac{x-2}{3} - \frac{x-3}{4}$

[2] 次の各問いに答えなさい。

(1) 1次方程式 $\frac{3x-1}{2} = \frac{5x+7}{3}$ を解きなさい。

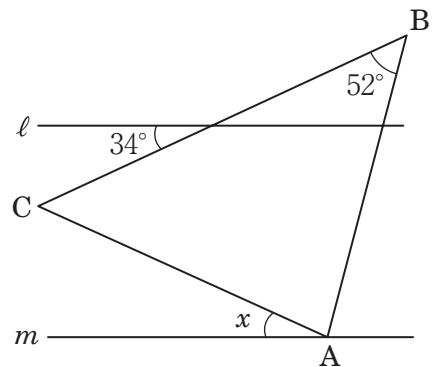
(2) 2次方程式 $2x^2 + 3x - 1 = 0$ を解きなさい。

(3) y は x に反比例し、 $x = 2$ のとき $y = -3$ である。 $x = 9$ のときの y の値を求めなさい。

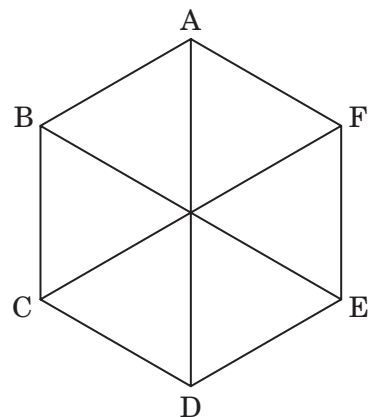
(4) $a = \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{5}$, $b = \frac{\sqrt{6} - 2\sqrt{2}}{5}$ のとき、 $a^2 - 2ab + b^2$ の値を求めなさい。

(5) 2次方程式 $x^2 + ax + b = 0$ の2つの解が -3 , 2 であるとき、定数 a , b の値をそれぞれ求めなさい。

(6) 次の図で、 $l \parallel m$, $AB = AC$ であるとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

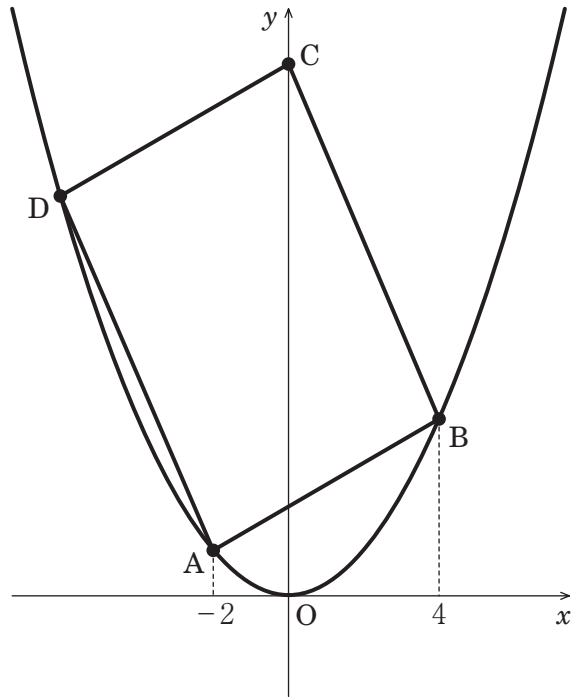


(7) 正六角形 $ABCDEF$ の頂点から3点を選んで三角形を作るとき、直角三角形ができる確率を求めなさい。



[3] 図のような平行四辺形 $ABCD$ があり, 3つの頂点 A, B, D は, 放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ 上, 頂点 C は y 軸上にある。

点 A の x 座標を -2 , 点 B の x 座標を 4 とするとき, 次の問いに答えなさい。



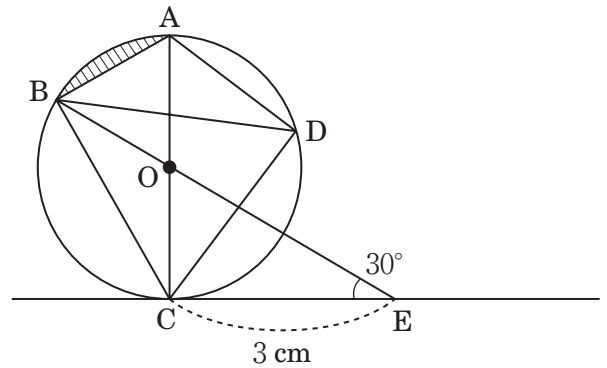
(1) 点 A の座標を求めなさい。

(2) 2点 A, B を通る直線の式を求めなさい。

(3) 平行四辺形 $ABCD$ の面積を求めなさい。

(4) 原点 O を通り, 平行四辺形 $ABCD$ の面積を二等分する直線の式を求めなさい。

- [4] 図のように、円 O の周上に4点 A, B, C, D があり、点 C における円 O の接線上に点 E があり、線分 AC, BE がともに中心 O を通る。



$\angle BEC = 30^\circ$, $\widehat{AD} : \widehat{DC} = 2 : 3$, $CE = 3 \text{ cm}$ のとき、次の問いに答えなさい。
ただし円周率は π とする。

- (1) $\angle BDC$ の大きさを求めなさい。
- (2) $\angle BAD$ の大きさを求めなさい。
- (3) $\triangle ABC$ の面積を求めなさい。
- (4) 斜線部の面積を求めなさい。

[5] 図のように、1辺の長さが $4\sqrt{3}$ cm の正三角形 ABC を底面とし、他の辺の長さが 8 cm の正三角錐がある。

辺 BC の中点を P とし、 $AQ+QB$ の長さが最小になるように、辺 OC 上に点 Q をとる。

このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 線分 OP の長さを求めなさい。

(2) $\triangle OBC$ の面積を求めなさい。

(3) $AQ+QB$ の長さを求めなさい。

(4) この立体を3点 A , B , Q を通る平面で2つに分けると、点 O を含む側の立体の体積を求めなさい。

